

第 20 回 全国外洋加盟団体長会議 議事録

開催日：2024 年 1 月 28 日（日）10:00～12:40

会議の場所及び方法：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3 階会議室及び
WEB 会議（Zoom）との併用開催

出席者：（理事）

中澤信夫 副会長、大村雅一 常務理事、望月宣武 常務理事、萩原ゆき 理事、
鈴木祥子 理事、岩瀬喜貞 理事、船澤泰隆 理事

（加盟団体 代表又は代理）

外洋北海道会長 廣田英夫、外洋津軽海峡会長 石川彰（理事兼）、
外洋いわき会長 菊池邦仁、外洋東京湾会長 足立利男、同事務局長 杉浦光之、
外洋三崎会長 大川昌志、同事務局長 近藤等、
三浦外洋セーリングクラブ会長 飯島洋一、同事務局長 坂口城治、
同顧問 平松隆、外洋湘南会長 作田智恵子、同事務局長 福島望、
外洋駿河湾会長代理 遠藤智（事務局長）、同事務局員 藤田順行、
外洋東海会長 大島茂樹、外洋近北会長 高橋利明、
外洋内海会長 永松馨介、同事務局長 猪上忠彦、同事務局員 北中育子、
外洋西内海会長代理 小山悟（事務局長兼）、
外洋玄海会長 沼田浩行（理事兼）、外洋南九州会長 石川国彦、
同事務局長 市来孝夫、同事務局員 田中葉子

（委員会関係）

外洋計測委員長 川合紀行、レースマネジメント委員会外洋小委員長 三浦伸郎、
通信委員長 坂口城治、ルール委員会外洋規則小委員会委員長 日下部太蔵、
外洋安全委員長 平出篤志、キールポート強化委員長 久保田悟
坂谷定生 参与、

（特別加盟団体）

日本ミニトン協会会長 中村正俊、同事務局長 萩岩政次
東京ヨットクラブ会長 国分良志、日本 IRC オーナー協会会長 宮川昌久
（事務局）

小山悟 外洋艇登録事務局長（外洋西内海会長代理兼）

（敬称略）

記録者 鈴木保夫

大村常務理事の進行で 10：00 より中澤副会長の開催の挨拶で開始した。

議事

1. JSAF 外洋系の 2024 年度の方針

大村常務理事より本会議に特別加盟団体に声をかけて参加して頂いていること
が報告され、2024 年度の外洋系の活動方針及び会議の日程が資料に基づき説明
された。

2. 加盟団体に係る JSAF の案件について

(1) 理事改選・評議員改選関係

大村常務理事より理事改選の日程、選挙理事及び水域理事の定員等が資料に基づき説明された。

続いて、水域の推薦理事及び評議員の推薦状況について各水域担当理事より説明された。

(2) 会員管理システム、艇登録システム改正の動向

望月常務理事より新たなシステムは、会員管理、艇の登録、活動記録を残すことの3つの機能があり、情報プラットフォームとして開発していることの報告及び、開発中の仮案について資料を示して説明がなされた。

⇒作田外洋湘南会長より、システムの運用経費はどこが負担するのかの質問が出され、望月常務理事より以下の回答がされた。

現在開発会社と費用について詰めていること、現在のシステムのメンテナンス費用、キックバックの振込料等の運用経費は JSAF が負担しており、同様に JSAF で負担できることが可能であるのか検討して理事会に諮り、決定してから加盟団体に示す。2月の理事会に諮る予定。

3. 外洋レース等に関する World Sailing の情報

鈴木祥子理事より、外洋アドバイザーグループ、外洋ダブルハンド世界選手権、外洋特別規定、テクノロジーの使用、国際規制ミッション、安全コミッションの各内容について資料に基づいて説明がなされた。

4. 外洋レースの状況

(1) 外洋ダブルス日本選手権 2024

大村常務理事より 2023 年度と同様に 4 月 29 日～5 月 5 日迄開催されることが説明された。

(2) 沖縄・東海レース

大島外洋東海会長より、2024 年の沖縄・東海レースの日程は従来と同様であるが、スタート地点が宜野湾マリーナ沖から与那原沖に変更されることが説明された。併せてパールレースの日程も紹介された。

(3) アリランレース

沼田玄海会長より、第 25 回アリランレースの公示が資料として配布され、20 艇の参加を見込んでいることが説明された。

5. 各専門委員会からの報告

・外洋計測委員会

川合委員長より、IRC と ORC の料金等について説明がなされた。

・外洋安全委員会

平出委員長より、2024 年に OSR が改定されること、日本語翻訳本の販売開始ま

でのスケジュールが説明された。

大村常務理事より、従来の A4 版ではなく B5 版での製本を望む声があることと
カテゴリー3 のホームページアップについて意見が出された。

平出委員長より、B5 版にすることについて今回は間に合わないが、どちらが良いのかはアンケートをとってから判断したいとの回答があった。

- ・通信委員会

坂口委員長より 2024 年度の主な活動として、今後の海岸局のあり方の提言、海岸局加入及び更新の促進、オフショアレースの支援事業等が説明された。

- ・レースマネジメント委員会

三浦委員長より、合同会議において外洋レースを運営するための資料を配布することの報告と、レースマネジメント委員会への参加のお願いがなされた。

- ・ルール委員会外洋小委員会

日下部委員長より、2023 年度の主な活動報告と合同会議の説明がなされた。

2024 年度はクラブのレースへの支援について取り組んでいくことが報告された。

⇒委員会の説明に対して駿河湾の藤田事務局員より、AIS の海岸局の整備に協力すべきとの意見がだされた。

これに対して坂口通信委員長より、関東ではほとんどのエリアで受信出来ていて問題が無いようであるが必要であれば他の地域も含めて状況を調べてみたい、との発言があった。

6. 各団体からの報告

- ・外洋南九州（石川会長）

国体の影響で火山巡りレースは中止したが他のレースは成立、三島カップには約 30 艇のエントリーがあった。

10 月に国体、11 月は全日本ミニトンレースが開催された。

- ・外洋玄海（沼田会長）

去年はクラブレースが順調に開催された。

今年はアランレースを開催、クラブレースは昨年と同様に開催予定。

- ・外洋西内海（小山会長代理）

予定していた 11 レースは 1 本がサミットの影響で延期になったが全て開催できた。

- ・外洋内海（永松会長）

去年はほとんどのレースが開催でき参加人数が増えている。

マリーナのキャパの関係で受入れに問題が生じている。

会員数の減少は下げ止まり感があるが今後は高齢化による減少が心配。

- ・外洋近北（高橋会長）

琵琶湖の各クラブや各マリーナのレースに協力した。

- ・外洋東海（大島会長）

去年は予定通りのレースができ、パーティーも全てできた。

今年の沖縄—東海レースは久々にエーサーパーティーを計画する。

- ・外洋駿河湾（遠藤会長代理）
駿河湾横断レースは強風で中止したが他のレースは順調に開催、マリーナと共催してレースを楽しんだ。
今年も同様に計画する。
- ・外洋湘南（作田会長）
レースは各クラブにほぼ開催してもらっている。
湘南水域の懇親のためのコモドアズカップを開催した。
フリートキャプテンの後継者が高齢化で不足している。
今年はディンギーに乗っている若い人を対象にした体験乗船を予定している。
- ・三浦オーシャンクラブ（飯島会長）
すべてのレースを開催した。約 30 本のクラブレースの内半分のレースには三浦のコミッティーを出しているので負担が大きい。
11 月の小網代カップレースに初めてダブルハンドクラスを設けた。今後盛んになることを期待する。
会員からジャパンカップの動向について質問があるので情報を頂きたい。
⇒中澤副会長より、今年は開催できるように考えている、との報告があった。
- ・外洋三崎（大川会長）
今年会長が交代になった。初島、神子元、相模湾ヨットフェスティバル、ショートハンド 1・2・3 の 4 つのレースを予定していたが、初島と神子元は中止となった。SYF は久しぶりに表彰式が出来、体験乗船には約 30 名が参加した。
三浦オーシャンクラブと合同で 3 月に安全とルールのセミナーを開催する。
- ・外洋東京湾（足立会長）
昨年予定したレース 3 本の内一本が中止となった。ミドルボートレースに協賛した。少しずつ盛り上がっているが会員は減少している。
- ・外洋いわき（菊池会長）
2011 年の震災以降レースはできていない。
ジュニアヨット教室に協力している。
- ・外洋津軽海峡（石川会長）
青森フリートで第 1 回ねぶた祭レースを開催、函館フリートはコロナ前の状況に戻り全レースを開催した。
今年は新しいレース「JSAF 会長杯」を予定する。
レースオフィサーの資格者を増やすために会費を団体で負担して 12 名の非会員に資格を取ってもらう。
- ・外洋北海道（廣田会長）
2 つのフリートでローカルレースを 5 本開催し、4~5 艇の参加があった。
他に小樽カップ、裕次郎記念カップ、祝津カップを開催予定であったが、裕次郎記念カップは中止となった。今年も同様に企画する。

続いて特別加盟団体から報告がなされた。

- ・日本ミニトン協会（中村会長）
今年も昨年同様に鹿児島で全日本ミニトンレースを開催する。

- ・日本 IRC オーナーズ協会（宮川会長）
逗子で IRC レガッタを予定している。
- ・東京ヨットクラブ（国分会長）
スバル座カップを開催するが管理会者の変更に伴い、名称が変わる可能性がある。
他にもレースを開催する予定。

7. 意見交換

ミニトン協会の萩岩事務局長より、八重山ヨットクラブが今年6月に台琉ヨットレース開催を予定していることが報告された。

8. 理事選挙についての打合せ

中澤副会長より、選挙理事候補及び水域理事推薦候補の状況説明がなされた。

9. その他

- ・作田外洋湘南会長より、2024年度も従来通りの会員証を11の外洋団体が作成することが報告された。

大村常務理事より次回団体長会議の開催場所は、決定次第案内することが報告され、続いて中澤副会長の閉会の挨拶で、12時40分に閉会となった。

以上